

学校だより

150周年

# 生地っ子

〔育てたい子供像〕



3号

黒部市立生地小学校

「かんがえる子」「はげましあう子」「ねばりづよい子」

令和5年6月29日

## 歴史の1ページそして、次の1ページ

校長 河内 崇

明治6年6月11日(日)、ここ生地の地において、精神小学校が開校しました。その創校日に合わせ、令和5年6月11日(日)に150周年記念式典を行いました。

各学校には沿革史というものがあり、今でも書き綴られ大切に保管されています。学校の日記みたいなものです。実は、本校の沿革史の1ページは、明治5年から書き始められています。そこには、入学生を募ったところ人数が多すぎたため、その半分だけを寺に受け入れたと記録されています。そして、翌年明治6年に田村文平さんの家を借り受け、300人の児童からなる精神小学校を開校したと記録されています。

学校の日記ですから、いろいろなことが書かれています。当時の授業教科やその内容、講堂や学校敷地内にあった炭焼き小屋、生地の大火等、様々です。面白いところでは、今の低学年にあたる児童が、朝日町の小丸山公園(現在はありません)に、高学年は立山や兼六園に遠足に行ったそうです。『無事に全行程を終える』と書いてありましたが、徒歩や自動車による移動のほうです。朝、何時に起きて小学校に集合し、出発したのでしょうか。随分と気合いの入った行事です。これも精神小学校の伝統だったのでしょうか。その後、生地尋常学校、生地尋常高等小学校、生地町立生地国民学校、生地町立生地小学校と名称を変え、現在の黒部市立生地小学校に至ったわけです。

現在の校歌は昭和19年に制定され、たくさんの人に歌い継がれてきました。制定当時はその歌詞に疑問をもつ人はいなかったと思います。それが当たり前だったからです。今はどうでしょう。歌詞の1番に「越湖の浜を右に見て」とありますが、実際、校舎3階からしか有磯海を右に見ることができません。右上の写真では、どの方位に浜があり、どこに新校舎(昭和45年)が建てられたのかを想像するしかありません。せっかくの150周年なので少し考えてみてください。(ヒントは、2つの講堂の位置です)

現在、生地小学校に通う児童は138名です。150周年という節目の年をたくさんの人と一緒に祝うことができ、とても喜ばしいことです。

式典は生地小学校の歴史から見れば一瞬の出来事です。子供たちにとっても訳が分からないまま終わってしまったかもしれません。しかし、その一瞬の出来事にも意味があり、目的があります。歴史の積み重ねを大切に、次の新しい1ページを夢見ながら、これからも生地小学校を大切にしていきたいと思っています。



生 地 小 学 校 ク イ ズ	
①	<p>生地小学校の校章は、左下にかいてあります。</p>  <p>この校章には『小』のほかにも、5つの漢字がかくされています。どんな漢字でしょうか。</p>
②	①の校章は、精神（せいしん）小学校のときからあったものでしょうか。
③	<p>精神小学校には、どんな意味が込められているのでしょうか。（ ）の中に入る文字を考えましょう。</p> <p>心を（ ）にして（ ）すれば、どんなことでもできる</p>
④	 <p>鉄筋の生地小学校は何回に分けて造る計画を立てたのでしょうか。</p> <p>①：1回 ②：2回 ③：3回</p>
⑤	生地小学校には、二宮金次郎（にのみやきんじろう）の像はいくつあるのでしょうか。
⑥	現在の会議室は、昔、どんな勉強に使われた部屋でしょうか。
⑦	児童生徒数は、1000人をこえたことがあったのでしょうか。
⑧	昔から制服があったのでしょうか。
⑨	生地小学校の卒業生にはプロ野球選手がいます。何という名前で、どこの球団に入団したのでしょうか。
⑩	黒部市立生地小学校には歴史上、7つの名前があります。学校だよりに書かれている名前の他に、もう1つ名前があります。それは、何でしょうか。

コメントの追加 [河崇1]:

答え

①	「生」の漢字が5つ 「生」の字を一つの心としてつなぎ、たゆまぬ努力を続ける人になってほしいという願いがこめられています。
②	なかった。生地町立生地国民学校から黒部市立生地小学校に変わったときにつくられた。
③	心を（1つ）にして（努力）すれば、どんなことでもできる。
④	③ 3年計画で造りました。
⑤	2つ
⑥	音楽科
⑦	あった。
⑧	<p>制服はなかった。</p> 
⑨	湯上谷 宏（選手名 竝志）（ゆがみだに ひろし）（南海ホークス）
⑩	簡易小学校 あるいは 精神尋常小学校

